

経常収支比率

歳出における義務的経費の割合を示すもので、財政構造の弾力性を判断するための指標として用いられます。この比率が低いほど、臨時的な財政需要に対して余裕を持つこととなります。一般的には、都市部では75%、町村では70%程度が妥当と考えられ、都市では80%、町村では75%を超えるると財政構造の弾力性は失いつつあると考えられます。

図1を見ると、熊野町及び坂町は、近隣市町の中でも低い数値を示しており、これは県内においても低い数値となっています。しかし、熊野町を含む近隣の市町は全て増加の傾向にあり、財政の硬直化が進んでいることが分かります。

公債比率

歳出のうち、借入金返済の一般財源に占める割合を示すもので、15%を超えないように努力する必要があります。

熊野町は図2のとおり10%を下回っており、これは平成12年、13年に引き続き、県内でも2番目に低い数値となっています。

平成12年度から比較すると、呉市と海田町を除いて比率の上昇がみられます。これらの数値から、平成14年度現在においては、熊野町は近隣の市町と比較すれば、

シリーズ市町村合併25 財政状況比較

平成13年8月号の「シリーズ市町村合併⑪」において、平成12年度の財政状況をお知らせしました。今回は、平成13年度及び平成14年度の数値と比較しながら、熊野町と他市町の財政状況を見ていきたいと思えます。

財政的に弾力性があるとみなすことができます。しかし、熊野町だけではありませんが、グラフから見取れるように、財政状況は大変厳しい状況へと進みつつあります。

このような財政状況や、近隣市町との行政制度の比較を各公民館、ふれあい館、健康センターに合併関連資料コーナーを設けて資料を備え付けていますので、合併を考える上での一つの資料としてご覧ください。

図1 経常収支比率

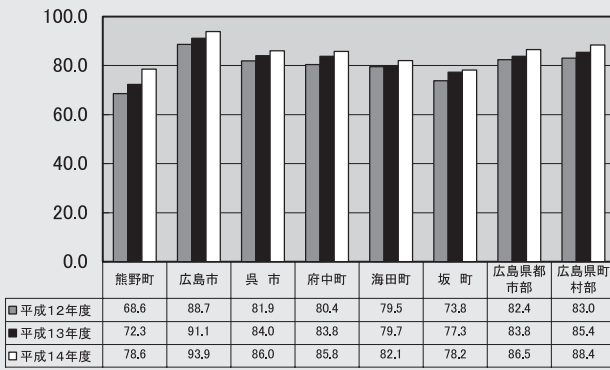
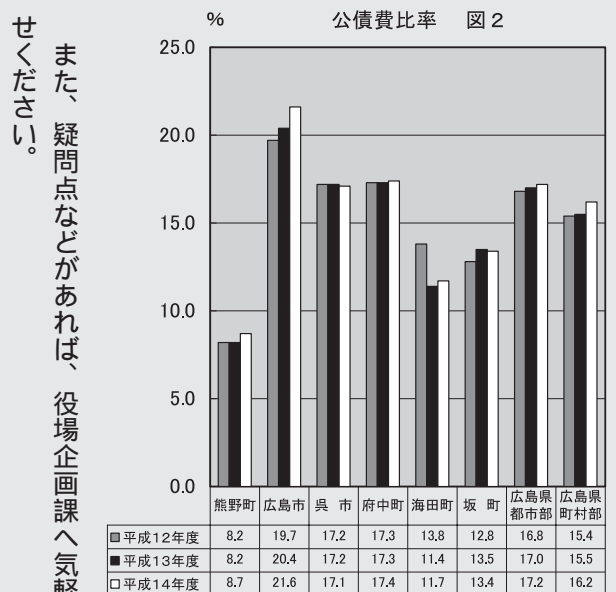


図2 公債費比率



また、疑問点などがあれば、役場企画課へ気軽に問合せ
せください。
(企画課 820-5602)

地元、熊野高校を通じて、地域と学校について考えていきます。

筆都が育てる、
熊野高等学校

県高校駅伝優勝！
全国高等学校駅伝出場決定！

11月2日(日)、「第54回広島県高等学校駅伝競走大会」が全国高等学校駅伝競走大会の県予選を兼ねて、西城町の道後山高原クロカンパークで開催されました。

この大会において熊野高等学校男子が出場校49校中、2時間8分51秒という好タイムを出し見事優勝を飾り、

